



くるめ傾聴ボランティア ろばの耳

2025年 - 12月

(令和7年)

冬号

ろばの耳広報

ろばの耳便り



交流会参加者（でんでん虫11名、ろばの耳18名）



意見交換会



在宅傾聴説明会

オンライン傾聴体験

温かい「おもてなしの心」に感謝
小郡傾聴ボランティア
「でんでん虫」さんとの交流会

小郡市福祉センターあすてらすにて

令和七年六月二十日

小郡の傾聴ボランティア「でんでん虫」さんにお招きいただき、交流会に参加させていただきました。

「ろばの耳」会員十八名で福祉バスにて伺ったところ会場の玄関には「でんでん虫」の会員さん達が並んで迎えてくださいました。その温かいお心遣いに、交流会は最初から和やかな雰囲気に包まれました。

交流会では、代表の古賀が「ろばの耳」における在宅傾聴の流れについて説明し、「でんでん虫」さんに

オンライン傾聴の実演体験をさせていただきました。

会員の皆様が前向きに、デジタル機器を使っておられる姿に感銘を受けました。

その後、両会員が班となり、それぞれの傾聴に関する思い思いの談義で盛り上りました。帰りも「でんでん虫」の皆様は玄関までお見送りください感謝の気持ちでいっぱいの交流会となりました。

「傾聴は人なり」という心を学ばせていただいた一日でした。



後半の人生

共に支え合い、心豊かに

養成講座開催

令和七年九月二十九日

『やさしい傾聴ボランティア』

講師

..

田島

清治

（ろばの耳元代表）

三十五名の方にご参加いただきました。参考に、その出来事が本人にとつて非常に大きな思い出だからに違いありません。

参画者のうち三名が新たにご入会ください現在活動を開催されています。

参画者の皆様は、これから的人生をどうようとお察いたします。

講師の田島氏は「ろばの耳」の創始者であり、八十歳を過ぎられた今も、講演活動をはじめ、ハーモニカ奏者や趣味の版画作成など、幅広くご活躍されています

皆様もぜひ、人生の後半を「世のため、人のため」、そして何よりご自身のために「ろばの耳」で共に豊かな時間を過ごせんか。活動へのご参加を心よりお待ちしております。

「また同じ話だ」と拒否反応を示すのではなく、積極的な興味や関心を持つて耳を傾けてみてください。そうすれば、毎回、全く同じ話になることはないでしょう。

激動の時代を生き抜いてきた一人の人間として、相手の存在そのものを認め、肯定的態度で向き合うことが大切です。

多様な価値観を受け入れるためには、心のゆとりが必要です。それこそが、人に 対する優しさと言えるのではないでしょ うか。



※田島氏の蔵書を寄贈して頂き参加者にお持ち帰りいただきました



何度も何度も繰り返される話の中に…

高齢の方が同じ話を繰り返すのはなぜでしょうか。それは、社会との関わりや人付き合いが減り、話題が少なくなっています。

いることも一因です。しかし、それ以上に、その出来事が本人にとつて非常に大切な思い出だからに違いありません。

昔のことを懐かしく思い出しながら語ることで、**自身の人生をその人なりに総括**しようとしているのかかもしれません。

昔のことを懐かしく思い出しながら語ることで、**自身の人生をその人なりに総括**しようとしているのかかもしれません。

「また同じ話だ」と拒否反応を示すのではなく、積極的な興味や関心を持つて耳を傾けてみてください。そうすれば、毎回、全く同じ話になることはないでしょう。

激動の時代を生き抜いてきた一人の人間として、相手の存在そのものを認め、肯定的態度で向き合うことが大切です。

多様な価値観を受け入れるためには、心のゆとりが必要です。それこそが、人に 対する優しさと言えるのではないでしょ うか。

日本傾聴ボランティア協会編
高齢世代の傾聴より抜粋

個人傾聴のご案内

「ろばの耳」の会員が、ご自宅や傾聴サロンへお伺いします。どんなお話でも構いません。あなたの思いに寄り添い、心を込めてお聞きします。どうぞお気軽にご利用ください。

連絡先

ろばの耳事務局

◆ これまで、多くの専門家の話を聞きましたが、長い経験に基づいた田島氏のお話には説得力がありますね



五〇九〇一九七九六一八三六一

